

日野町立図書館のめざすもの

－今後10年間を見通した図書館サービスの方向性について－（答申）

日野町立図書館協議会

平成26年3月31日

1. はじめに

日野町立図書館は開館後17年を経て、今後ますます住民のみなさんに活発に利用していただくために、これまでの図書館サービスを見直し、新たな運営計画を策定し実施していくことが必要な時期となっています。

平成23年3月に策定された「第5次日野町総合計画」の「施策45 図書館を拠点とした学びの輪を広げる」では、めざすべき方向性として「豊かな人間性をはぐくむために、住民が“いつでも、どこでも、誰でも”学ぶことができるように公民館や図書館を拠点とした学習機会の充実を図り、社会教育施設や関係団体とのネットワーク化などを進めます。」とされています。この方向性を実現するために、図書館の運営やサービスを今後どう進めるべきか検討し、実施していくことが課題です。

そこで平成24年度に図書館長より、日野町立図書館協議会として「日野町立図書館の活動をより充実・発展させるための図書館のあり方」についての検討の諮問を受けました。諮問内容は図書館サービス全般と7項目の個別のサービス課題についてで、平成26年2月までの2年間で8回にわたり諮問検討会を行いました。

諮問を受けた個別の課題については次の通りです。

- ・日野町内のどこに住んでいても図書館サービスが受けられる、全域サービスの実現
- ・住民のニーズに応える蔵書の構築
- ・子どもの読書活動を推進するサービスの充実
- ・中学・高校生を中心とした世代へのサービスの充実
- ・図書館への来館が困難な住民や外国籍の住民へのサービスの実現
- ・図書館からの情報発信
- ・図書館司書の専門性の向上

ここに、これまでの検討の結果をまとめましたので、答申します。

この答申を受けて、これからの10年先を見通した図書館の運営計画を策定し、計画に基づき、図書館が住民のための図書館として努力を続け、さらに良いサービスを実施されるよう期待します。

2. 日野町立図書館のこれまでのあゆみ

日野町立図書館は平成8年3月に開館しました。それに先立ち平成5年4月より開館準備室が、同年7月より日野町図書館計画策定委員会が設置されています。

この計画策定委員会において、どのような施設にするかとともに、「資料提供を確実

に行う図書館、住民の生活を豊かにし、住民の幸せに役立つ資料を提供する」ことを基本的な目標としたサービス目標や計画も検討され、「日野町図書館建築計画書」（以下、「計画書」と略。）としてまとめられました。この中には移動図書館や分館の設置も構想として入れられていますが、現在は図書館1館での運営です。

この「計画書」に示されたサービス目標と現時点での達成率は、下記の表1の通りです。目標が達成できていない点については、図書館による詳しい分析と改善のための対応策が必要です。

表1 「日野町図書館建築計画書」によるサービス目標と実績

項目	開館10年後(平成18年度)目標	平成25年度実績
貸出冊数	23万冊	19.2万冊
住民1人あたり貸出冊数	10冊	8.72冊
蔵書冊数	15万冊程度(うち開架分10万冊)	18.1万冊(うち開架分約11万冊)
開架図書の更新率* (図書新鮮度)	収蔵冊数の20%	収蔵冊数の6.4%
	2万冊	7021冊
雑誌	250タイトル	280タイトル
新聞	15紙	15紙
職員数	貸出冊数2万冊につき 司書1名(11名体制)	貸出冊数3.8万冊につき 司書1名(5名体制)

*開架図書の更新率(図書新鮮度)…図書館蔵書を評価する指標の一つで、ある年に新規に受け入れた図書の冊数を年の終わりの蔵書冊数で割った値。『図書館情報学用語辞典』

数値目標のうち達成できていないのは、町民1人当たりの貸出冊数と開架図書更新率となっています。貸出冊数と更新率には相関関係があり、貸出冊数の伸び悩みの理由とも考えられます。目標達成のためには思い切った資料費の増額も必要と思われます。

3. 図書館サービスの現状

開館以来の貸出冊数等の実績は表2・表3のとおりです。

平成18年に貸出冊数が大きく減少し、その後も少しずつ減少し続けています。図書館は減少の要因について、平成17年度から他自治体住民への貸出しを停止したこと、開館当初から所蔵する本の書庫への配置換えが進んでおらず書架の新鮮度が薄れたこと、視聴覚資料も同様に新鮮味がなくなり貸出点数がかなり減少していることなどを挙

げていますが、より詳細に現状を分析し利用を活発にしていける努力が望まれます。

4. これからのサービスのために どんな図書館を求めるか

図書館の仕事は住民というサービス対象があつてのことから、図書館職員には住民のニーズを知ること、本の出版状況を始めとした世間一般の様々な動きを知ることなどが求められます。ニーズ把握の調査は、ふだん図書館を利用していない住民にも調査範囲を広げる必要があります。そこで得た結果を具体化したサービスを実施し、中・長期にわたる運営計画を策定する際にも生かしてください。

① 個別課題・日野町内のどこに住んでいても図書館サービスが受けられる、全域サービスの実現

町域の広い日野町では、町内のどこに住んでいても同じように図書館サービスが受けられる全域サービスは非常に重要です。「計画書」では移動図書館の運営を将来的な目標にしていたましたが、現在まで実現できていないのは残念なことです。

全域サービスには、図書館が出かけていく方法と図書館への交通手段を用意する方法が考えられます。また、各地区にある公民館との連携を進めることが求められています。

専用車でなくとも、車に本を積んで町内のいろいろな場所にでかけ、貸出しする形の全域サービスもあります。また、町内の関係機関等と連携し、図書館までの交通手段の確保や、本の宅配サービスの実施も考えられます。今後も移動図書館車でのサービス導入の可能性を探りながら、全域サービス実現の方法を模索し、実施してください。

② 個別課題・住民ニーズに応える蔵書の構築

図書館では、本や雑誌、視聴覚資料を蔵書として豊富に持ち、利用に供するだけに留まらず、蔵書の情報を広く発信して、住民の「読みたい気持ち」を喚起することも大事な仕事です。

読書の道案内をする情報コーナーの設置や、図書目録や出版状況がわかる資料、一般的な実用書や小説のほかに専門分野の普及書・入門書の本も所蔵し、随時最新の内容のものに買い替えて、書架を新鮮に保つよう望まれます。また、図書館司書による読書案内や調べものの相談（レファレンス）サービスの充実、PRも重要となります。

③ 個別課題・子どもの読書活動を推進するサービスの充実

現在、図書館では「第2次日野町子ども読書活動推進計画」に沿って子どもたちの読書を支援するサービスを推進しています。子ども時代の読書習慣が、その後の生涯にわたる読書や活字・情報との関わりを決定づけることから、このサービスは図書館事業の大きな柱と言えます。

小・中学校は町内の子どもたちが毎日通う場所であることから、図書館が学校と連携して読書推進活動に取り組むことは非常に重要です。日野町では、3年まえから図書館より学校司書を派遣し、学校図書室での大幅な貸出増となって成果を上げているのは喜

ばしいことです。派遣開始前後の子どもたちの読書の様子の変化や、浮かび上がってきた問題点などを随時記録しておくことが重要です。平成 25 年度は学校司書の派遣先は 3 小学校 1 中学校です。今後派遣校の増加を進める上で、読書に関わるボランティアや地域のサポーターの力を借りることも必要になってくると思われます。また、教諭・司書教諭・学校司書の役割の違いをはっきりさせ、学校司書だからできることは何か、確認しておくことも必要でしょう。

学校司書は図書館からの派遣がよいと考えます。他方、図書館から学校や幼稚園に司書が出かけて、読み聞かせなどをすることも大事です。子どもたちが多くの良質な絵本と出会い、まわりの大人からたくさん絵本を読んでもらった経験を得るために、子どもたちの豊かな読書や育ちを支援する人たちとの連携をさらに積極的に広げていってください。

④ 個別課題・中学・高校生を中心とした世代へのサービスの充実

「計画書」には「YA サービス」として、「中・高校生を意識した収書を行なうとともに、図書館が彼らの楽しみの場となる」と目標が挙げられています。しかし現状では、中学生・高校生の図書館利用は小学生と比べてかなり少ない状態です。

「計画書」の目標を達成するために、この世代の利用を想定した「ヤングコーナー」のあり方とサービスについて見直し、活発な利用を呼び込む方策を実施することが必要です。具体的には、町内の中学校・高校の図書館と連携し、中・高校生にとって魅力ある本や雑誌を揃え、共同で行事などを行い、この世代の人たちにとって図書館が魅力的で居心地の良い場所となるよう努力してもらいたいと考えます。

⑤ 個別課題・図書館への来館が困難な住民や外国籍の住民へのサービスの実現

まず、このサービスの対象者とニーズの把握が必要です。

身体的に障害のある方、様々な理由で図書館への来館が困難な方、高齢者、あるいは外国籍の住民の方などが、必要とする本や情報、サービスなどの調査を実施し、図書館でできること、すべきことを把握し、サービスの実現につなげていってください。

また、町内の関係機関、民生委員、福祉ボランティア、関連施設の職員などとの情報交換と連携を進めていくことが望まれます。

⑥ 個別課題・図書館からの情報発信

図書館からの情報発信は、図書館だより、ホームページ、チラシ、「広報ひの」、新聞記事などが主なものです。しかし、それは住民に浸透していると思われず、発信はすいぶん控えめと言えます。

今後は組回覧の活用や、「広報ひの」で図書館特集ページを定期的に持つなどのほか、新しいメディアも積極的に利用して、より強く確実に、必要な人に必要な情報が届くようにしてもらいたいと考えます。

また、図書館だよりやホームページ等で、職員から本や図書館の情報を積極的に発信

していけば、図書館がより身近に感じられるようになり、これからはそういったぬくもりのある情報発信が重要になっていくと思います。

⑦ 個別課題・図書館司書の専門性の向上

図書館は本の森や情報の世界への入り口、図書館司書はその森で人と本をつなぐ案内役です。司書は、日野町住民が必要とするテーマを扱った資料について知り、それらを図書館に用意し、手渡すことが重要な仕事です。

本や情報について、住民が司書に気軽に話せる雰囲気作りが大切です。司書もカウンターの中だけでなく頻繁にフロアに出て、利用者が本を探すサポートをしたり、展示などの様々な工夫で蔵書の魅力を伝えたり、本や図書館をもっと好きになるような活動を行うことが望まれます。

また、司書は常に自己研鑽に励み、世界のあらゆることにアクセスする手段に通じていてもらいたいと考えます。そのために、例えば足繁く大きな書店に通い、そこから「今の気分」や、本と人を結びつける方法について学んでくることも大事です。

⑧ その他 図書館の事業評価の実施と「答申」の見直しについて

図書館法では図書館サービスの現状を把握・分析し、客観的な指標での事業評価を定期的に行い、その結果を広く知らせていくことを求めています。その事業評価を日常のサービス向上や、将来の運営計画策定に生かしていくことが重要です。

この「答申」を受けて、図書館は中・長期にわたる運営計画を策定し実施していくとともに、サービスの質の維持と向上のためにも事業評価基準を定めて実施してください。

また、この「答申」そのものも時期を定めて内容の見直しをしていく必要があると考えます。

5. まとめ

日野町立図書館が開館して以来、住民は広々とした図書館で新しい多様なジャンルの本やCDを借りたり、豊富な新聞や雑誌をゆったりとしたソファで読んだり、調べ物の相談をしたりしてきました。また、おはなしかいや講演会などの行事に参加するなどして図書館を利用し、図書館のある日常を楽しんできました。今や図書館のない暮らしは想像できないほどとなっています。

しかし、開館後17年以上を過ぎた今日、インターネットの普及や電子書籍の登場など、本や情報をめぐる状況にも大きな変化が起きています。図書館でも、将来を見通して新たなサービスを始めるなど、便利で使いやすい図書館サービスの実現に積極的に取り組んでもらいたいと考えます。

そして、これまで以上にあらゆる日野町住民の「知りたい・学びたい気持ち」に応えるため、図書館司書は専門性を高め、住民ニーズを把握する努力を怠らず誠実に向き合い、魅力的で必要とされる蔵書をそろえ、地域に親しまれ心地よいサービスを提供する図書館、本との豊かな出会いのある図書館となることをめざし、努力してください。

公共図書館は、教育機関として住民の生涯学習を支え、まちづくり、ひとづくりを支える役割があり、自治体が運営に責任を持つべきものです。また、図書館にはサービスの安定性や継続性、必要に応じて様々な機関と連携する柔軟性が求められ、それは町直営だからこそ可能となるのです。

町内のいたるところで、いつも本や図書館のことが話題になり、たくさんの住民が気軽に図書館に立ち寄って本を借りたり、情報を探したり、図書館で出会った人たちが本の話で意気投合し、そこから何かが始まるような、住民の暮らしに身近で親しみのある図書館になっていくことを期待します。

関係各位には、この答申の趣旨をご理解いただき、これから10年の図書館サービスのよりよいものとなるよう、方向性を定めていただければ幸いです。

6. 資料

「日野町図書館建築計画書」

表2 日野町立図書館 個人貸出冊数および人数

表3 『日本の図書館』の集計による日野町立図書館の18年

7. 検討日程

平成24年度	第1回	平成24年6月9日(土)
	第2回	// 7月21日(土)
	第3回	// 9月15日(土)
	第4回	// 11月24日(土)
	第5回	平成25年2月9日(土)
平成25年度	第1回	平成25年8月24日(土)
	第2回	// 11月30日(土)
	第3回	平成26年2月13日(土)

8. 図書館協議会委員名簿

平成24年度～25年度委員

麻原 克司(会長)

岡田 健司

織田 弘美

川原 美貴子

角 京子

田代 守

西川 一雄

森本 光雄

吉澤 松美

吉田 美代子